

試験を分析し、この級でよく出る漢字ベスト40をまとめました。実際に試験された問題もわかるので、解答とセットにしてまとめて確認しておきましょう。

表の見方

1 離

頻出漢字

過去10年間の出題率
57.7%

チェックボックス
覚えた問題はチェックをつけよう。

出題形式
出題される試験分野です。アイコンの見方は表の左下にあります。

よく出る問題
試験で実際に出題された問題です。右からよく出る順に並べています。

問題の答え

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
遅	尾	端	途	惑	援	脱	眠	到	濃	跡	鮮	薄	離	
49.2%	50.8%	50.8%	51.5%	51.5%	51.5%	52.3%	52.3%	53.1%	54.6%	54.6%	55.4%	56.9%	57.7%	
書熟読 オソい遅い	部熟読 尾首尾(高低)型	同四読 容姿タン麗端	熟四読 帰途(洋画)型	識書読 困惑迷惑惑星	熟書読 援助(岩石)型	書熟読 脱出(高低)型	書熟読 安眠(洋画)型	熟読四 周到(非)型	熟書読 濃霧(洋画)型	熟四読 追跡(着席)型	熟書読 新鮮(岩石)型	書四読 希薄(さ)はく	四熟読 離陸(高低)型	
遅延(ちえん)遅刻(ちやく)遅い(おそい)	首尾(しゆび)首尾(しゆび)尾(しゆび)	極端(きょくたん)容姿(ようさ)タン麗(たん)端(たん)	使途(しよと)前(まへ)ト有望(うやう)途(と)	困惑(こんわく)ギワク(ぎわく)疑惑(ぎわく)	援助(えんじょ)エゴ(えご)援護(えんご)	着脱(ちやく)脱出(だつしゅつ)ダツシユツ(だつしゅつ)脱出(だつしゅつ)	永眠(えいみん)安眠(あんみん)安眠(あんみん)	好機(こうき)周到(しゅうたう)周到(しゅうたう)未到(みだう)未到(みだう)	濃霧(のうむ)濃霧(のうむ)濃い(こい)	形跡(けいせき)人(ひと)セキ未踏(みだう)跡(せき)	鮮やか(あざやか)アザやか(あざやか)鮮やか(あざやか)	希薄(きはく)意志(いし)ハク弱(じやく)薄(うすい)薄(うすい)	離合(りごう)離陸(りりく)離陸(りりく)	離合(りごう)離陸(りりく)離陸(りりく)

32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
微	丈	更	尽	舞	甘	違	詳	殖	寝	傾	乾	倒	慮	奇	沈	汚	突
44.6%	44.6%	44.6%	45.4%	45.4%	45.4%	45.4%	46.1%	46.1%	46.1%	46.1%	46.1%	46.9%	46.9%	47.7%	47.7%	47.7%	49.2%
同熟読 微細(びさい)微増(びさう)微力(びりき)	書類読 健康(けんこう)丈夫(じふ)セタケ(せたく)背丈(せいじやう)	書熟読 更衣(こうい)更(さら)更(さら)更(さら)	同熟四 無尽(むじん)尽(じん)力(りき)力(りき)	部四読 狂舞(きやうぶ)舞(まわ)舞(まわ)	部書読 甘言(かんげん)甘(あま)甘(あま)	識熟読 相違(さうい)違(ちが)違(ちが)	読対熟 詳細(しゆじゆ)大要(たいやう)大要(たいやう)	熟同読 増殖(ぞうしき)殖(しょく)殖(しょく)	書熟読 就寝(じゆしん)寝(ね)寝(ね)	部書読 傾斜(けいしゃ)傾(かたむ)傾(かたむ)	書熟読 乾季(けんき)乾(かわ)乾(かわ)	同熟四 転倒(てんたう)倒(たふ)倒(たふ)	熟四読 短慮(たんりよ)慮(りよ)慮(りよ)	書四読 奇想(ききやう)奇(き)奇(き)	対熟四 浮沈(うきしん)沈(しん)沈(しん)	四書読 汚名(うけい)汚(けが)汚(けが)	部読書 突拍(とつぱつ)突拍(とつぱつ)
微細(びさい)微増(びさう)微力(びりき)	健康(けんこう)丈夫(じふ)セタケ(せたく)背丈(せいじやう)	更衣(こうい)更(さら)更(さら)更(さら)	無尽(むじん)尽(じん)力(りき)力(りき)	狂舞(きやうぶ)舞(まわ)舞(まわ)	甘言(かんげん)甘(あま)甘(あま)	相違(さうい)違(ちが)違(ちが)	詳細(しゆじゆ)大要(たいやう)大要(たいやう)	増殖(ぞうしき)殖(しょく)殖(しょく)	就寝(じゆしん)寝(ね)寝(ね)	傾斜(けいしゃ)傾(かたむ)傾(かたむ)	乾季(けんき)乾(かわ)乾(かわ)	転倒(てんたう)倒(たふ)倒(たふ)	短慮(たんりよ)慮(りよ)慮(りよ)	奇想(ききやう)奇(き)奇(き)	浮沈(うきしん)沈(しん)沈(しん)	汚名(うけい)汚(けが)汚(けが)	突拍(とつぱつ)突拍(とつぱつ)

部首のまちがい

裁 vs 戒

戒の部首は、戈(ほこづくり)。ほかに、我や戯なども同じ部首。裁の部首は、衣(ころも)。ほかに、襲や裏なども同じ部首。部首の衣は武器などの意味があり、衣は衣服などの意味をもつ。部首は意味が優先する。漢字の形にとらわれずに、漢字の意味に近い部首を選ぶ。

読みまちがい

怖 vs 恐

恐怖は、似た意味の漢字から構成される熟語だが、それぞれ訓読みすると、恐ろしい「おそ・ろしい」、怖「こわ・い」となる。

書きまちがい

歡 vs 勧

勧は、すすめるという字義がある。部首が力(ちから)なので、力づくで勧める。歡は、よろこぶという字義がある。部首が欠(けつ・あくび)なので、あくびが出るような歓迎「かんげい」と会と覚える。

書きまちがい

浸 vs 侵

侵は「人」が入り込む、浸は「水」がしみ込むという字義がある。同じ読み「しん」に「ゆ」でも、侵入は他人の土地に勝手に入り込むことであり、浸入は水が建物などに入り込むことである。それぞれの漢字の部首である「イ」と「ト」の意味の違いをイメージしながら、区別して覚える。

40	39	38	37	36	35	34	33
烈	縁	即	範	劣	妙	渡	鬪
43.9%	43.9%	43.9%	43.9%	44.6%	44.6%	44.6%	44.6%
部書読 強烈(きやうれつ)熱烈(ねつれつ)	書熟読 縁(えん)縁(えん)	熟四読 即席(しやく)即席(しやく)	類熟読 師範(しはん)師範(しはん)	部熟読 劣等(りやうとう)劣等(りやうとう)	書四読 妙案(みやうあん)妙案(みやうあん)	同書読 渡る(わたる)渡る(わたる)	同熟四 力戦(りきせん)力戦(りきせん)
強烈(きやうれつ)熱烈(ねつれつ)	縁(えん)縁(えん)	即席(しやく)即席(しやく)	師範(しはん)師範(しはん)	劣等(りやうとう)劣等(りやうとう)	妙案(みやうあん)妙案(みやうあん)	渡る(わたる)渡る(わたる)	力戦(りきせん)力戦(りきせん)